

平成 29 年度事業報告書

平成 29 年 5 月 1 日 から平成 30 年 4 月 30 まで

特定非営利活動法人 Rainbow Children Japan

1 事業の成果

平成 29 年度は、奨学金支援事業で 98 名の奨学生へ支援を行った。

チベット学生 97 名についてはかねてよりの目標であった 100 名在学を達成した（3 名は中途退学等で減少）。2018 年 3 月のチベット亡命政府訪問時には、ダライ・ラマ法王およびロブサン・センゲ首相より感謝を受けることとなり、奨学金設立より 6 年間の成果が実を結んだ。

また、スラムから大学院で学んだ奨学生は MBA を修了し、目標の第 1 歩となるスラム学校第 1 号を開校した。今後も彼の影響力を最大化することによってスラムでの教育支援を推し進めたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名                         | 事業内容   | 実施日時   | 実施場所                       | 従事者の人数                         | 受益対象者の範囲及び人数                     | 支出額(千円) |
|--------------------------------|--|--|----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------|
| <b>奨学金支援事業</b>                 | インドにおいてチベット難民およびスラムの子どもたちに対して、2017 年度大学進学・進級のための奨学金支援を実施。      | 支援実行<br>2018. 4<br>訪問<br>2017. 10<br>2018. 3 | インド<br>(ダラム<br>サラ・デ<br>リー) | 24 名                           | チベット奨学生<br>97 名<br>スラム奨学生<br>1 名 | 6115    |
| <b>その他この法人の目的を達成するために必要な事業</b> | BeTheChangeProject2018<br>教育団体 Edu×らぼとの協業で、第 1 回日本チベット学生会議を開催。 | 2017. 6<br>～<br>2018. 4<br>会議開催<br>2018. 3   | インド<br>(ダラム<br>サラ、デ<br>リー) | 日本人学生 12 名<br>他<br>スタッフ<br>8 名 | チベット奨学生<br>97 名<br>日本人学生<br>12 名 | 1661    |

(2) その他の事業

| 定款の | 事業内容 | 実施 | 実施 | 従事者 | 支出額 |
|-----|------|----|----|-----|-----|
|-----|------|----|----|-----|-----|

| 事業名           |   | 日時 | 場所 | の人数 | (千円) |
|---------------|---|----|----|-----|------|
| <b>物品販売事業</b> | チベタンジュエリー等チベットの伝統文<br>化工芸品をネットを通じて広く販売する。<br>収益を奨学金事業に充てる。<br>⇒今年度実施せず。 | —  | —  | —   | —    |